

広報いわき

# IWAKI

2024年

4  
Vol.693

人づくり 日本一を目指して

—花言葉—

あなたへの愛情は生きている



# 祈りに包まれた一日



教訓を胸に、未来へ



いつまでも忘れない  
あの日から13年。  
大震災で犠牲になられた御靈に哀悼の誠を捧げます。月日は流れても、災害の教訓をしっかりと継承します。

災害に強いまちづくり、人づくりに取り組み「逃げ遅れゼロ」、「災害死ゼロ」を果たすことこそが、御靈へのご供養でもあると、3・11の節目に改めて強く認識しました。

内田 広之  
いわき市長



いつまでも忘れない  
あの日から13年。

何年経っても忘れてはいけない。  
あの時の悲しみ、苦しみを二度と繰り返さないように。  
私たちは、この記憶を風化させず、伝え、未来へ紡いでいく。  
無数の星が暗闇を照らすように。  
私たち一人一人の教訓が未来を照らせるように。

だからこそ、未来へ。  
この日があるから未来へ。

震災から何年経とうが、今の日常が当たり前ではないことを知っている私たち。

東日本大震災を知らない、経験していない子どもたちはこれからも増えていきます。記憶と教訓を伝え、防災への意識を心に深く刻む。同じような悲しみを決して繰り返さないために。

当たり前の日常が突然失われた日。戦後最大の自然災害。その災害から一日一日を一生懸命に生き抜いてきた私たち。

## 「伝え、未来へ紡ぐ」





宮崎 美穂 教諭(英語)



## 好間中学校

### 探究力で地域課題解決

好間中では、防災をテーマとした総合学習に全学年で取り組んでいます。1年生は「自助」のための防災ハンドブック作り、2年生は「共助」のための防災マップ作り、3年生は「公助」のための避難所運営などを実施。こうした学びを生かしながら、地域とのつながりで新たな学びを創造する、その探究心こそが地域課題の解決へつながっていきます。昨年の台風第13号の際には、適切な避難行動につながり、避難所となった同校において率先して運営に協力するなど、防災教育の成果が着実に現れています。

特集  
03 「生きる力」を教育から  
**学びを**  
数十年後の未来。今の子どもたちがその社会にどのような力を身に付けるべきか。のために必  
本特集では、これから求められる「学び」を実



## 内郷第一中学校

### English is a key to open the new world

「英語は、新しい世界を広げるための鍵」、こう話す宮崎教諭。英語教育の重要性は年々増し、中学生に求められる英語力も大きく変化しています。こうした中で、生徒たちが主体的に英語学習に取り組めるよう、単元ごとの「ゴール」と「超えるべきハードル」を明確に設定し、それを超えるためのさまざまな仕掛けづくりにICTを積極的に活用しながら取り組んでいます。

2年生の授業を取材した際には、会話のほとんどが英語で行われており「英語を学ぶ」というより「英語で学ぶ」という生徒一人一人の意識の高さが印象的でした。



### ICTは文房具

夏井小では、ICT(情報通信技術)を効果的に活用し、思考力・判断力・表現力を高めるための先進的なモデル構築に取り組んでいます。課題に対して、自ら考え、共有・共感・判断し、自信を持って表現する。こうした主体的な学びの促進と協働的な学びの充実に向け、各学年、そして児童一人一人の能力や個性に応じた学習が展開されています。限られた時間の中で「生きる力」をいかに育めるか、そのカギを握るICTの活用は、もはや文房具と言っていいほど身近で重要な手段です。

Vol.5 (最終回)  
**その先へ**  
適切に対応し、豊かな人生を切り拓くためには、  
必要な「学び」とは何か。  
践する学校・教諭の取り組みの一部を紹介します。



### 対話型の学び

小学4年生の担任を務めるとともに、市教育委員会の国語科における調査研究委員も務めている鹿目教諭。その授業には、大きな特徴があります。児童たちは、どの授業でも積極的に自分の思いを伝えたり、他者の意見・考えに共感したりしながら、全員でゴールに向かっていきます。ポイントは「対話型の学び」であること。正解を教えるための授業ではなく、正解を導くためのコーディネート。こうした全員参加の楽しい授業づくりを第一に考え、児童に達成感や自己有用感を持たせたり、助け合いの心を育んだりしながら、一人一人の豊かな成長につなげています。



鹿目 邦博 教諭

# 特集 04 いわき平競輪場の魅力と役割。

いわき平競輪場のさまざまな魅力と公営競技が果たしている社会貢献の侧面についてお届けします。

## 感動と興奮のスタジアム

全国に43ある競輪場。その中でも、いわき平競輪場は「名実ともに日本有数の競輪場」として多くの競輪ファンを魅了しています。その特徴は何といっても「空中バンク（競走路）」と呼ばれる二層構造で建てられたバンク。そして、屋外施設として国内で唯一、バンクの内側から迫力あるレースを観戦できることが大きな魅力です。



▲ナイト競輪時の場内

## まちづくりに貢献

いわき平競輪場における収益の一部を市の一般会計予算に繰り出しています。令和4年度は、3億8千万円を一般会計へ拠出、これまでの累計額は、令和4年度末で約882億円となっています。

こうした競輪事業の収益に基づく財源は、小中学校のエアコン整備・トイレ改修、保育所の整備、河川改良事業など、幅広い事業に役立てられています。



▲市内全ての小中学校に整備されたエアコン



▲パラサイクリング日本代表 河本翔大選手との交流

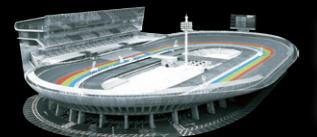
## 地域開放型施設

競輪場の魅力は決して競輪だけではありません。地域に開放し、多彩なイベントを行っています。本市に拠点を持つ日本パラサイクリング連盟が主体となつた走行会（毎月実施）や各種団体への体験会、小学生を対象とした課外授業の実施など、自転車競技を通じた学びを地域へ提供する役目も果たしています。

令和6年能登半島地震復興支援競輪 大阪・関西万博協賛

# 第78回 日本選手権競輪 GI

JAPAN CHAMPIONSHIP KEIRIN



前夜祭  
4/29(日曜日)

4/30 火曜日・5/1 水曜日・2 木曜日・3 祝金曜日・4 祝土曜日・5 祝日曜日

国内最高峰 G1 レース  
いわき平競輪場で開催

レース期間中は、お子様から年配の方まで多くの方が楽しめるイベントが盛りだくさんですので、ゴールデンウイークは、ぜひ「いわき平競輪場」へお越しください。

イベントの詳細はこちらから→



当競輪場での特別競輪については、昭和53年3月の「第31回日本選手権競輪」を初めとし、通算15回開催しており、今回で16回目のG1開催となります。

日本選手権競輪は、年間の獲得賞金額によって選抜された国内トップクラスの選手のみが集結するレース。特別競輪の中でも最も歴史が古く、まさに競輪界の最高峰レースとして多くのファンに親しまれている大会です。

6つのG1レース全てを制覇する「グランドスラム」。私は、これまで5つのG1を制覇しており、残る一つは、地元、いわき平競輪場で開催される日本選手権競輪のみです。史上5人目となるグランドスラム制覇を目指し、全力でレースに臨みますので応援よろしくお願ひします。



山崎 芳仁 選手  
いわき市出身  
88期 S級1班

令和6年度当初予算

## 4つのポイント（主な取り組み）

## 人づくり

17億337万円

■多様な学びの場整備事業：1,371万円

子どもが安心して多様に学ぶことができる居場所を提供するため、チャレンジホームを設置とともに、学習支援ルームを運営。

■いわき地域医療学校事業：1,133万円

将来的に本市の地域医療を担う医療人材の確保を図るため、小学生から研修医までの各ステージに応じた医療や介護に関する教育プログラムを展開。

## 未来を切り拓く

## 公共交通

4億857万円

■生活交通維持対策補助事業：1億8,696万円

公共交通の維持・確保や地域の活性化を図るために、生活路線バスを運行する交通事業者に対し、バスの運行に要する経費の一部を補助。

■公共交通活性化推進事業：2,040万円

日常生活における移動手段として選ばれる公共交通の実現を目指すため、関連施策の取り組みを検討・導入し、最適な公共交通ネットワークを構築。

防災  
雨水対策63億5,006万円  
※繰越予算含む

■雨水貯留施設整備事業：1億2,000万円

大雨による広範囲での浸水頻度の高い内郷綴町・御厩町において浸水被害軽減を図るために、雨水貯留施設整備調査設計を実施。

■防災対策推進費：2,355万円

市民の防災意識の高揚や地域における防災力の向上を図るために、各種防災訓練などを実施するとともに、災害情報などの伝達手段を強化。

## 未来を切り拓く

## 医師確保

4億57万円

■大学医学部連携事業：2億9,636万円

本市の医療提供体制を確保するため、大学医学部などに寄附講座を開設し、不足している診療科の医師を招聘。

■地域医療確保推進事業：1,667万円

市民が安心して暮らせる医療提供体制の確保を充実を図るために、市内病院に勤務する医師の招聘に向けた取り組みを実施。

人口減少や少子高齢化、発・激甚化する自然災害、新たな技術の進展や価値観の多様化など、急速な社会変化にさまたな課題に対し、全ての分野でベースとなる「人づくり」を着実に推進していくます。

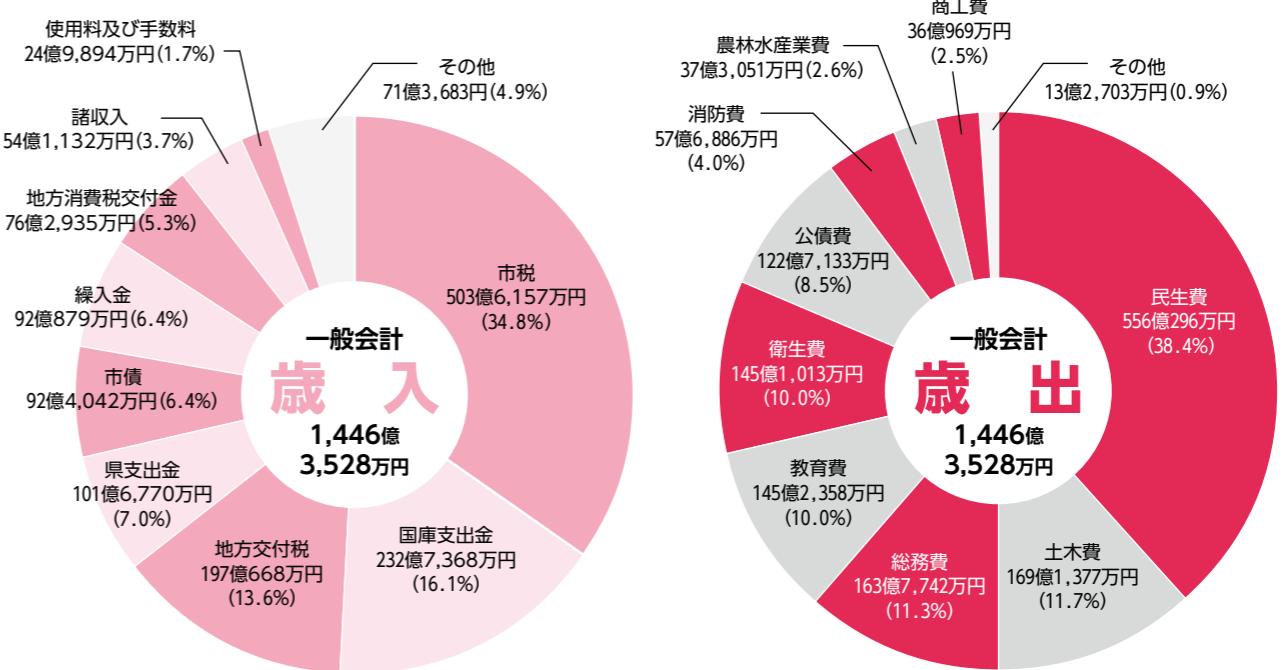
「まちづくりは人づくりとも言います。『人づくり日本一の実現を目指した政策の推進』『将来にわたり持続可能な行政運営の確立』の2点を基本方針に掲げ、若者から高齢者まであらゆる世代がいわきに誇りと魅力を感じてもらえるよう、課題の解決と未来への投資に向け、令和6年度当初予算を編成しました。

総額3,138億8,299万円

(対前年度：+49億2,561万円 +1.6%)

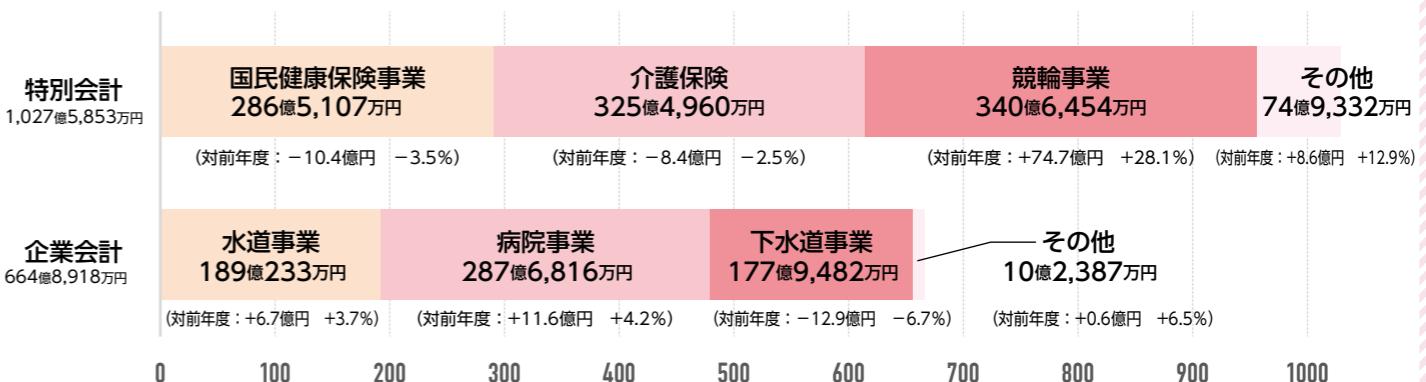
## 一般会計

1,446億3,528万円 (対前年度：-21億3,203万円 -1.5%)



## その他の会計

1,692億4,771万円 (対前年度：+70億5,764万円 +4.4%)



TOPIX  
2

## 市議会2月定例会を開催

お問い合わせ  
総務課 ☎22-7401

いわき市議会2月定例会が、2月15日から3月7日までの22日間の会期で開催され、来年度の当初予算案など、75議案が可決・同意されました。

### 市長からの主な行政報告

市民の皆様といわきへの想いを共有し「人づくり日本一」の実現に向け、積極果敢に政策を推し進めるため、その柱として「次世代を育てる」「命・暮らしを守る」「まちの魅力を高める」「豊かさを創る」の4つを掲げ、各分野におけるさまざまな取り組みに挑戦します」と報告しました。

詳しくは、議会だより『ほうれんそう』や市議会ホームページをご覧になるか、議会事務局（☎22-7535）へお問い合わせください。

TOPIX  
3

## 介護保険料の改定について

お問い合わせ  
介護保険課 ☎22-7616

介護保険制度を適切に運営するため、介護保険第1号被保険者（65歳以上）の保険料を3年ごとに見直しており、今後の介護保険サービスの給付見込みを踏まえ、令和6～8年度の保険料を次のとおり改定しました。高齢者の皆さん安心して暮らし続けられるよう、介護保険サービス維持への理解と協力をお願いします。

※介護保険料のお知らせは、7月中旬に通知を予定しており、年金天引き（特別徴収）の方には、今月上旬に仮算定通知を郵送します。

### 介護保険料基準月額 6,200円 → 6,303円に改定

本人の年金収入額※1とその他の所得金額※2の合計額

保険料（年額）

世帯全員が 市民税非課税	80万円以下、または生活保護受給者、老齢福祉年金受給者	→ 第1段階	21,600円
	80万円を超えて120万円以下	→ 第2段階	36,700円
	120万円を超える	→ 第3段階	51,900円
同じ世帯に市民税 課税者がいるが、 本人は市民税非課税	80万円以下	→ 第4段階	66,600円
	80万円を超える	→ 第5段階	75,600円

合計所得金額※3

125万円未満	→ 第6段階	85,500円
125万円以上200万円未満	→ 第7段階	94,500円
200万円以上300万円未満	→ 第8段階	113,500円
300万円以上500万円未満	→ 第9段階	132,400円
500万円以上700万円未満	→ 第10段階	143,700円
700万円以上1,000万円未満	→ 第11段階	151,300円
1,000万円以上1,500万円未満	→ 第12段階	174,000円
1,500万円以上	→ 第13段階	189,100円

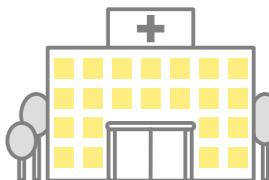
さ  
市  
れ  
民  
て  
税  
い  
が  
る  
課  
方  
税

※1 遺族・障がい年金などの非課税年金を除いた公的年金の一年間の受給額。 ※2 年金収入以外の収入に係る「所得」の合計額。  
※3 全ての「所得」の合計額（年金収入額に係る所得を含む）。

TOPIX  
1

## 市役所の組織が変わります

お問い合わせ  
人材育成支援課 ☎22-7407



### 01 医師不足解消へ

保健福祉部 【新設】

#### 医療対策課

- POINT
- 「地域医療課」を再編し「医療対策課」を新設。
  - 同課に医師招聘推進企画官を配置。
  - 将来の医療人財を育成するため、小学生から研修医まで切れ目なく「医療を学ぶ」「医療を育てる」ための取り組みの展開や市医療構想会議を中心とした医師不足解消の取り組みをさらに推進。

### 02 公共交通不便地域の解消へ

都市建設部 【新設】

#### 公共交通課

- POINT
- 「総合交通対策担当」の体制を拡充強化し「公共交通課」を新設。
  - 中山間地域などの公共交通不便地域における移動手段の確保に向けた検討に加え、バス路線廃止に伴う代替え手段の検討、鉄道交通の維持・活性化方策の検討など、公共交通に関する喫緊の課題にスピード感を持って対応。



### 03 稼げる一次産業の実現へ

農林水産部 【再編】

#### 農業政策課 農業振興課 農林土木課 林業振興課 水産振興課

- POINT
- 「農業政策課」  
地域計画やほ場整備、公共施設の管理を担当。
  - 「農業振興課」  
農産物の流通、販売、消費などの総合戦略や就農支援を担当。
  - 「農林土木課」  
農道などの農業用施設の整備や林道事業、治山事業を担当。
  - 「林業振興課」  
森林保全、森林経営管理の推進や国土調査を担当。
  - 「水産振興課」  
「常磐もの」などの情報発信を通した魚食の推進を担当。



### 04 循環型社会の形成へ

生活環境部 【新設】

#### 資源循環推進課

- POINT
- 「除染対策課」を「ごみ減量推進課」に統合し、「資源循環推進課」を新設。
  - 社会環境や生活様式が大きく変化していることを受け、ごみを資源として再利用し、循環型社会の形成を推進。



その他

- デジタルを活用した業務改革を本格化させるため「構造改革・DX推進課」を新設。
- 人材の有効活用による効率的な市政運営を行うため「人事課」と「人材育成支援課」を新設。  
なお、本ページでは主な組織についてご紹介しています。詳しくは、市HPをご覧ください。



TOPIX  
5

## 無料相談窓口一覧

電話でお受けしている相談もありますので、お問い合わせください。

相談名	相談内容	とき	相談員	ところ
市民	市に対する要望・意見や問い合わせ、相談窓口の案内など	月～金曜日 8時30分～17時15分	市民相談員	広報広聴課（☎22-1299）または各支所
登記	不動産登記の権利取得や変更に関する登記の申請・手続きなど	第2火曜日 9時～正午	司法書士	広報広聴課（☎22-1299・7438）/福島県司法書士会（☎0120-81-5539）でも受け付けています。
労働・年金	労務管理・労働条件などの問題や社会保険・年金の手続き	第3火曜日 10時～正午、13時～15時	社会保険労務士	広報広聴課 労働相談は労働基準監督署（☎81-0068）市労働福祉会館（☎24-2511）でも受け付けています。
法律	社会生活上のトラブルを解決するための法的アドバイス	第2・3・4水曜日 14時～16時30分（予約制）	弁護士	広報広聴課 弁護士の法律相談予約▶ 
行政手続	官公署に提出する許認可などの申請書類の作成や手続き	第1・4火曜日 10時～正午、13時～15時	行政書士	広報広聴課
税務	所得税・相続税・贈与税等の税全般に係る申告・納付など	第1・3木曜日 10時～正午、13時～15時	税理士	広報広聴課
行政	国の行政機関に対する要望・意見など	第2金曜日 10時～正午、13時～15時	行政相談委員	広報広聴課
生活再建	被災者の生活再建等に関する問い合わせ、支援制度の案内など	月～金曜日 8時30分～17時15分	広報広聴課職員	広報広聴課内生活再建市民総合案内（☎22-1245）
交通	交通事故の損害賠償や示談など	木曜日13時～16時 (予約制)	交通相談員	消費生活センター ※予約先 自動車教習所員
	運転能力や認知機能への不安など			生活安全課（☎22-1152）
消費生活	消費者と事業者との契約トラブルや多重債務問題など	月～金曜日 9時～16時	消費生活相談員	消費生活センター（☎22-0999）
年金	国民年金全般	月～金曜日 8時30分～16時30分	年金アドバイザー	国保年金課（☎22-7464）
こころの健康	精神面・心の悩みなど ※精神科医師などによる「心の相談」は要予約	月～金曜日 8時30分～17時	保健師など	保健所地域保健課（☎27-8557）
母子・父子・寡婦	母子父子寡婦福祉資金の貸し付けなど	月～金曜日 8時30分～17時15分	母子・父子自立支援員など	小名浜地区保健福祉センター（☎54-2111）、内郷・好間・三和地区保健福祉センター（☎27-8612）
家庭児童	不登校や友人関係、子どもの養育、児童虐待など	月～金曜日 8時30分～17時15分	家庭相談員など	各地区保健福祉センター
女性	離婚や夫などからの暴力、家庭不和	月～金曜日 8時30分～17時15分	女性相談員など	小名浜地区保健福祉センター（☎54-2521）、内郷・好間・三和地区保健福祉センター（☎27-8612）
医療安全	医療に関する相談や情報提供など	月～金曜日 9時～正午、13時～16時	保健所職員	保健所内医療安全相談センター（☎27-8556）
生活・就労	生活に困窮している方の生活全般や就労など	月～金曜日 8時30分～17時15分	相談支援員、就労支援員	生活・就労支援センター（☎38-6500）
権利擁護	高齢者・障がい者の権利侵害・財産管理などの法的アドバイス	第2・3・4木曜日 14時～16時30分（予約制）	弁護士、司法書士	権利擁護・成年後見センター（☎27-8571）
教育	子どもや保護者の悩み（いじめ・友人関係・不登校・進路・勉強・子育て・しつけ）など	【電話相談】①月～金曜日 9時～18時 ②土・日曜日、休日 9時～17時（第3日曜日、年末年始を除く）	教育相談員	総合教育センター（☎23-7261）
		【面接相談】月～金曜日 9時～17時（予約制）	教育相談員	総合教育センター（☎22-3709）
福祉総合	日常生活の悩みごと	月～金曜日 8時30分～17時15分	市社会福祉協議会職員	市社会福祉協議会（☎24-4850）
	もめごとや悩みごとに対する法律上の解決方法	第1水曜日 13時～16時（予約制）	弁護士	市社会福祉協議会（☎23-3320）

TOPIX  
4

## ゴールデンウィークのイベント情報

### 開館40周年記念

### 秘密の花園 — いわき市立美術館所蔵品展



4/20(土)～6/2(日)

市立美術館

☎25-1111

▲アンソニー・グリーン《パッションII》 1981年 油彩・ボード、キャンヴァス  
©Anthony Green, Courtesy of Nishimura Gallery

開館40周年を記念し、市立美術館のコレクション約150点を展示する展覧会を開催します。8つのテーマで構成された展示を見ながら、現代美術の作品が持つ「秘密」を探ります。※有料

### 草野心平の旅 所々方々



4/20(土)～6/26(水)

草野心平記念文学館 ☎83-0005

詩人・草野心平の「旅」を取り上げ、心平が訪れた国内外各地を紹介しながら「旅」を主題とした作品や関連資料を展示します。※有料

### 考古資料館

☎43-0391



### 体験学習会

### 考古資料館まつり



### 発掘速報展

発掘調査での出土品

4/20(土)～7/7(日)

令和5年度に市内で行われた遺跡の発掘調査などの成果を展示します。

4/27(土)～29(月)・5/3(金)～5(日)

土器、土偶、はにわ、まが玉づくりを実施します。※要材料費



5/6(月)

土器づくりなどに加えて、火おこし、弓矢体験を実施します。※一部有料

### 再開記念イベント 「ほるるクエスト」

4/25(木)～5/6(月)

石炭・化石館

☎44-6545

音と映像およびなぞとき要素を加えた館内イベントを開催します。

-実施時間-

17時30分から19時30分

※最終入館19時、有料

### 語り伝えたい記憶 風船爆弾と学徒動員

4/25(木)～9/1(日)

勿来関文学歴史館

☎65-6166

勿来町に基地があった風船爆弾や学徒動員について市内在住の方からうかがった体験談をもとに、戦時中の記憶をたどります。  
※有料

5/5(日)

### 暮らしの伝承郷

☎29-2230

けん玉元日本チャンピオンが華麗な技の演技と指導をします。検定認定者には、公式認定証が授与されます。  
※要事前申込、定員20人



## 桶売中学校



川前地区にある桶売中学校で最後の卒業式が行われ、地域のみなさんなど多くの方が駆け付けて卒業生2名の門出を祝福しました。

また、卒業式の後には閉校式が執り行われ、77年間の歴史に幕を閉じました。1947年（昭和22年）の創立以来1、779名の卒業生を送り出した桶売中学校。閉校式は学校へのありがとうございました溢れています。

## 小白井中学校



同地区、小白井中学校でも最後の卒業式が行われ、1名の卒業生が思い出の学び舎を卒業しました。

卒業式の後に執り行われた閉校式では、地区の皆さんや歴代卒業生などに見守られ、1885年（明治18年）から続いた長い歴史に幕を閉じました。

これまで454名の卒業生を送り出した小白井中学校。長い間お疲れさまでした。



## 川前地区2中学校 閉校式（3月13日）



ランナーのまぶしい笑顔

**IWAKI 2024**  
SUNSHINE MARATHON

フラの街 いわきを翔ける 風になれ!

IWAKI SUNSHINE MARATHON

▲さらに詳しく



最高のボランティアスタッフ

## 市長と地域ふれあいトーク

2月1日、市長は「泉商店会」の皆さんと懇談し、「いざみふれあいマルシェ」の開催や泉ふるさと祭りでの「ごつちゃ市」への出店、YouTube配信による店舗紹介や各店舗をまるるスタンプラリーの開催など泉地区の賑わいづくりの取り組みについて話し合いました。また、2月6日、市長は「内郷女性消防クラブ」の皆さんと懇談し、高齢者世帯への防災啓発活動や防災手話講習会の取り組みなど、災害発生時に配慮が必要な方への支援方法について話し合いました。

その後、市長は「NPO法人常磐炭田史研究会」の皆さんと懇談し、常磐炭田の産業遺産を調査・研究・保存する活動や、産業遺産を活用した観光振興の取り組みなどについて話し合いました。



▲ 泉商店会の皆さんと市長



▲ NPO法人常磐炭田史研究会の皆さんと市長



▲ 内郷女性消防クラブの皆さんと市長

4年制大学の誘致運動は、昭和32（1957）年、石城地方市町村議会議長会が誘致を決議したことに始まります。

この運動はその後も継続され、昭和41（1966）年10月にいわき市が発足した後、昭和46（1971）年10月、「いわき市大学誘致期成同盟会」が結成され、次いで、同年12月には市議会において4年制大学（理科系を想定）の誘致促進が決議されると、その誘致場所としていわきニュータウンへの誘致がクローズアップされていきました。さらに、いわきニュータウン構想の中に、高等学校、中学校などとともに高等教育施設（大学）が具体的な立地場所として位置づけされました。

## 住宅への補助

住まい政策課 ☎22-1178

### ■がけ地近接等危険住宅の改修費を補助

現在居住する住宅が土砂災害特別警戒区域等に指定される以前から存在する場合、土砂災害に対する構造耐力上安全な擁壁の設置費用・外壁などの改修費用の一部を補助します。

申込方法 同課、各支所に備え付けの申請書（市ホームページからも入手可）に必要事項を記入し、必要書類を添えて、〒970-8686 住まい政策課へ（直接持参も可）

申込期間 4/15(月)～5/31(金)必着

補助件数 1件（先着順）

※相談は隨時受け付けています。

### ■セーフティネット住宅の家賃などを補助

#### ◇家賃

対象 大家、不動産業者などの賃貸人

補助額 家賃の2分の1（1戸当たり上限月額2万円）

#### ◇家賃債務保証料など

対象 家賃債務保証会社、居住支援法人など

補助額 1戸当たり上限6万円（初回契約分のみ）

#### ◇案内（共通）

要件 セーフティネット住宅情報提供システムに登録された市内の住宅確保要配慮者専用賃貸住宅に要件を満たす方が入居することなど

募集戸数 17戸程度（先着順）

申込期限 来年1/31(金)必着

申込方法 同課、各支所・市民サービスセンターに備え付けの申込書（市ホームページからも入手可）に必要事項を記入し、〒970-8686 住まい政策課へ（直接持参も可）

## 合併処理浄化槽の設置費を補助

生活排水対策室経営企画課 ☎22-7519

単独処理浄化槽またはくみ取り便槽から合併処理浄化槽へ転換する方を対象に、設置費の一部を補助します。

申込期間 4/8(月)～来年3/14(金)

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

## 障がい者の支援活動に補助金を交付など

障がい福祉課 ☎22-7485

### ■障がい者の支援活動に補助金を交付

障がい者などの団体が行う自発的な活動に必要な経費を補助します。

対象 市内に住所を有する障がい者やその家族で構成する団体、障がい者福祉に関する活動を行うボランティア団体などが実施する事業で、次のいずれかに該当するもの ①ピアサポート ②災害対策 ③孤立防止活動支援 ④社会活動支援 ⑤ボランティア活動支援 ⑥その他の活動支援

申込方法 同課に備え付けの申請書（市ホームページからも入手可）に必要事項を記入し、〒970-8686 障がい福祉課へ（直接持参も可）

申込期限 5/8(火)必着

※補助金額は、活動内容などを踏まえ決定します。

### ■重度心身障がい者の交通費を助成

対象 身体障害者手帳1級・療育手帳A・精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかの交付を受け、所得税が非課税で在宅の方

助成金 年額1万2千円（年度途中で助成資格に該当した場合は月割り）

申込方法 交付を受けている手帳、本人名義の預金通帳の写しを持参し、各地区保健福祉センター・支所（小名浜・内郷支所を除く）で

### ■障がいのある方への合理的配慮の提供が義務化

4月から民間事業者の障がい者への合理的配慮の提供が「義務」となります。積極的に社会的障壁を取り除き、共生社会の実現を目指しましょう。

## シニアのボランティア活動を応援

地域包括ケア推進課 ☎22-8574

市内に住所を有する65歳以上の方が、市が指定する活動に参加してポイントを貯めると、本市特産品などの商品と交換できます。参加には毎年度登録が必要です。住所・生年月日を確認できる身分証明書を持参し各地区保健福祉センターなどで手続きをしてください。

申込期限 ポイントの付与期間は来年3/31(月)まで、交換期間は5/1(火)から来年4/15(火)まで

## 固定資産税 土地・家屋価格等の縦覧を実施

資産税課（土地） ☎22-7430・7431

（家屋） ☎22-7432・7433

本年度の固定資産税納税者の方は「土地価格等縦覧帳簿・家屋価格等縦覧帳簿」を縦覧できます。

日時 4/1(月)～30(火) 8:30～17:00

場所 同課、各支所・税務事務所

持ち物 縦覧の申請の際は、本人確認書類、令和6年度固定資産税納税通知書（確定通知書）などをお持ちください。なお、代理の方（法人の場合は従業員など）による縦覧は委任状が必要です。

## 生け垣の設置に要する費用を補助

公園緑地課 ☎22-7518

対象 道路に面する部分の総延長が5m以上で、高さが60cm以上の樹木を1m当たり2本以上植栽する方（高さ1m以上のブロック塀などを撤去し、生け垣を設置する方も可）

補助額 ①生け垣設置＝1m当たり5千円を限度（上限10万円） ②生け垣設置のための塀撤去＝1m当たり5千円を限度（上限10万円）

申込方法 同課、各支所などに備え付けの申込書に必要事項を記入し、同課で

申込期間 4/15(月)～予算額に達した時点で終了

## 市民公益活動災害補償保険を活用しましょう

地域振興課 ☎22-7414

市民または市内に活動の本拠地がある方が行うボランティア活動を側面から支援する制度です。掛け金は市が負担します。

申込方法 任意の様式に、団体名・住所・電話番号・代表者氏名、活動予定日時・場所、活動名・内容、参加予定者数を記入し、団体の概要が分かる資料と参加者名簿（住所・氏名）を添えて、活動日の前日までに同課または各支所へ提出

※市が主催・共催する活動や市の管理下で行うボランティア活動は対象外です。要件など詳しくは市ホームページをご覧ください。

## 国民年金保険料の学生納付特例の受け付け

国保年金課 ☎22-7464

特例を受けるには、毎年度、申請が必要ですので、忘れずに手続きをしてください。

対象 前年の所得が一定基準以下の学生

申込方法 基礎年金番号またはマイナンバーが確認できる書類、在学期間が分かる在学証明書の原本または学生証の写し、会社を退職し学生となつた方は雇用保険受給資格者証などを持参し、同課または各支所・市民サービスセンターで

## 川前地区に行ってみよう！

地域振興課 ☎22-7415

### ■川前駅前ふれあい交流館min-nanoを開館

観光案内や自転車の無料貸し出し、自転車チャレンジ企画などを行います。

日時 4月～7月、9月～11月の土、日、祝日 9:00～16:00 ※8、12～3月は休館

場所 川前町川前字中ノ萱79 (JR川前駅前)

### ■小さな拠点「おおか」がグランドオープン

古民家を改修し設立した新しい川前の活動拠点です。カフェ＆ランチも楽しめますので気軽に越しください。



## 119番 映像通報システムを4月1日から開始

消防本部指令課 ☎22-0123

通報者のスマートフォンを活用し、通報現場（病気・怪我、火災、事故・災害など）の状況や場所の把握、応急手当のアドバイスなどが可能となる映像通報システムの運用が始まりました。



## 犬の登録と狂犬病予防注射は飼い主の義務です

保健所生活衛生課 ☎22-8592

集合注射会場または市内の指定動物病院で必ず実施してください。

料金 登録手数料は3,000円、予防注射は3,250円

## シルバーリハビリ体操指導士養成講座受講者など

地域包括ケア推進課 ☎27-8575

■講座を受講しシルリハ体操3級指導士になろう  
日時 5/8(木)・10(金)・13(月)・15(水)・16(木)・20(月)・22(水)・24(金)・27(月)・29(水) (全10回) 13:30～16:30

場所 総合保健福祉センター

対象 市内に居住し全日程を受講できる方

定員 12人 (先着順)

申込方法 4/15(月)8:30から同課へ電話で

### ■生活援助サービス従事者養成研修の受講者

日常生活の支援が必要な高齢者宅を訪問して、買い物や掃除、調理などの家事の援助を行う方を養成する研修を実施します。

日時 5/14(火)・21(火)・28(火) (全3回) 9:30～15:30 場所 総合保健福祉センター

対象 市内に居住し全日程を受講できる方

定員 10人 (先着順)

申込方法 4/15(月)からニチイ学館いわき支店へ

電話 (☎21-7898) またはファックス (fax21-7931) で

## 要約筆記者養成講習会の受講者

障がい福祉課 ☎22-7485 fax 22-3183

✉ shogaifukushi@city.iwaki.lg.jp

日時 5/25～10/12の土曜日 (全21回) 10:00～15:00 場所 サン・アビリティーズ

定員 10人 (応募多数時書類選考)

対象 高校生を除く18歳以上で、市内に居住または通勤し、全日程を受講できる方

申込方法 同課、各支所・地区保健福祉センター・市民サービスセンターに備え付けの申込書 (市ホームページからも入手可) に必要事項を記入し、〒970-8686 障がい福祉課へ (直接持参・fax可) 申込期限 4/30(火)必着

## 第47回吉野せい賞応募作品

文化交流課 ☎22-7544

新人の優れた文学作品を顕彰する「吉野せい賞」の応募作品を募集します。

内容 ①部門=創作 (小説・童話・戯曲)、文芸評論、ノンフィクション ②規格=400字詰め原稿用紙を使用する場合は15～100枚以内、パソコンを使用する場合は40字×40行で5～29枚以内

申込方法 同課、各支所・公民館・図書館などに備え付けの応募用紙 (市ホームページからも入手可) に必要事項を記入し、作品2部を添えて、〒970-8686 文化交流課へ (直接持参も可)

申込期限 8/1(木)必着

## 子どもの預かりに協力してくれる方を募集

こども支援課 ☎22-7454

病児・病後児や急なお子さんの預かりなど、育儿の援助に協力してくださる方を募集します。会員登録が必要ですので、希望者は次の講座を受講してください。

日時 4/27(土)・5/12(日)・25(土)・6/2(日)・22(土)・7/6(土)・20(土)・8/4(日)・17(土)・31(土) (全10回) 9:00～12:30のうち2～3時間程度

場所 平第二小学校マナビィ館

定員 30人 (応募多数時抽選)

申込方法 4/26(金)までにいわき緊急サポートセンター (☎080-9011-9930) へ電話で

## 募 集

### 水道週間「写真展」作品

水道局総務課 ☎22-9314

「いわき～水・まち・ひと～」をテーマに昨年5/9から本年5/7に撮影された写真を募集します。

対象 市内に在住または通勤・通学している方

内容 ①水が写っているもの (海に関するものは除く) ②水道局の水道施設が写っているもの

申込方法 各支所などに備えつけの応募用紙 (市ホームページからも入手可) を作品に貼り付け、〒970-8026 平字童子町2-5 水道局総務課へ (直接持参可) 申込期限 5/7(火)必着

## 7月採用予定の市職員医療職採用候補者

医療センター総務課 ☎26-3177

内容 募集職種／採用予定人数 ①看護師・助産師／10人程度 ②作業療法士／1人程度 ③言語聴覚士／2人程度 ④臨床工学技士／1人程度

試験 5/11(土) 場所 医療センター

対象 募集職種の免許を有する者

申込方法 市ホームページに掲載の申込書に必要事項を記入し、〒973-8555 医療センター事務局総務課へ 申込期限 4/26(金)消印有効

## 4月1日からこども家庭センターを設置

こども家庭課 ☎27-8563

妊娠期の妊婦から出産後の子育て家庭、また、児童虐待などにより支援を必要とするこどもやその家庭の相談支援機能を強化するため、市内7カ所の地区保健福祉センターに「こども家庭センター」を設置します。地区保健福祉センターの母子保健と児童福祉の両機能の連携をさらに深め、支援が必要な方には「サポートプラン」を作成するなど、妊婦やこども、その家庭に寄り添った相談支援体制を整備します。

妊娠や子育て、児童虐待などに関するご相談は、「こども家庭センター」へご相談ください。

## ひとり親家庭の経済的自立を支援する給付金など

こども家庭課 ☎27-8563

### ひとり親家庭の経済的自立を支援する給付金

ひとり親家庭の父または母が、次の講座などを修業する際に給付金を支給します。

### ◇就業につながる教育訓練講座を受講した場合

修了した場合、対象経費の6割に相当する額を支給します (上限あり)。

### ◇看護師や介護福祉士などの資格取得をする場合

6ヶ月以上養成機関で修業する場合、修業中 (月額70,500円～) および修了後(25,000円)に支給します (金額は世帯の課税状況による)。

※申込方法など詳しくは、同課または各地区保健福祉センターへお問い合わせください。

### ■父子・母子福祉手当などを支給

#### ◇父子・母子福祉手当

対象 市内に1年以上住所がある被保護世帯、市民税非課税または均等割のみ課税世帯の方

内容 義務教育終了前のお子さん2人まで年額1万円を支給 (1人増すごとに1,500円を加算)

#### ◇父子・母子等奨学資金

対象 市内に1年以上住所がある要保護世帯の方

内容 高校・高専に在籍するお子さんに月額5千円を支給 (高専は3年修了まで)

#### ◇案内共通

申込方法 住所地の地区保健福祉センターで

## 私道の舗装や側溝の整備に要する費用を補助

道路管理課 ☎22-7494

対象 次の要件を全て満たす私道 ①1994年3月31日以前に築造されたもの ②幅員が2m以上で、延長が30m以上であるもの ③おおむね5戸以上の家屋が接続し、当該家屋の住民が現に利用しているもの

補助額 ①市街化区域内=補助対象事業費の60%以内 ②市街化区域外=補助対象事業費の40%以内 (いずれも上限120万円)

申込方法 同課または各支所経済土木課で

申込期限 11/29(金)

## 医師・助産師を目指している方へ修学資金を貸与

医療センター事務局総務課 ☎26-6791

将来、市立病院に勤務する意思のある学生に修学資金を貸与します。

### ■医師修学資金

対象 大学 (大学院除く) の医学部に在学している方 (他の奨学金などを貸与されている場合も可) 貸与額 月額23万5千円 定員 4人程度

### ■助産師修学資金

対象 助産師養成施設に在学している方

貸与額 月額10万円 定員 1人程度

### ■案内 (共通)

申込方法 同課、各支所に備え付けの申請書 (市ホームページからも入手可) に必要事項を記入し、簡易書留で、〒973-8555 医療センター事務局総務課へ 申込期限 4/30(火)消印有効

## 子育て

### 公立小・中学校の就学費用を援助

学校教育課 ☎22-1123

お子さんを公立小・中学校へ就学させるのに経済的理由でお困りの方に、学用品などの就学費用の一部を援助します。

※申請方法や援助内容など、詳しくは同課へ。



# 市民の健康教室

提供・問い合わせ  
（社）いわき市医師会 ☎38-4201

## ポリファーマシー

いくつかの病気を持っていたり、日々の体調不良などで複数の医療機関を受診することはよくあることです。このような場合、各病院、各診療科でそれぞれ別々に薬が処方され、結果として薬の数が増えてしまうことがあります。また、似たような成分の薬が重複してしまうこともあります。場合によっては、多くの薬を服用したことによる副作用や、数が多くて薬が飲めないなどの不都合が起こります。これをポリファーマシーといいます。複数を意味する「ポリ」と調剤を意味する「ファーマシー」を組み合わせた言葉です。

とりわけ高齢者では、加齢による内臓機能の低下から、薬を分解し体内に排出するのに時間がかかります。そのため、それぞれの薬が互いに影響しあい、ときには効きすぎたり、ときには

効かなかったりということがおこります。副作用も出やすくなります。何種類の薬でポリファーマシーになるという明確な基準はありませんが、高齢者では6種類以上の薬で有害事象が発生しやすくなるという報告もあります。

ポリファーマシーを防ぐには、治療中の病気、使用中の薬剤、服薬状況などを医師、薬剤師にしっかりと伝えることが必要です。使用している薬の情報は1冊のお薬手帳にまとめて整理しておきましょう。正確な情報がポリファーマシー対策には不可欠です。また、薬が追加されたり変更されたりしたときには、いつもと違った症状がないか注意しましょう。自己判断で勝手に薬の量を調節せず、医師や薬剤師によく相談することも大切です。

## 乳 腺 外 科 ①

### 乳がん検診・早期受診のすすめ

乳がんは現在、女性では日本で最も発病数の多いがんです。1年間に発病する女性は9万7,812人（2019年）、実に女性の9人に1人が一生のうちに乳がんを経験すると言われています。

市民の皆さんにまずお伝えしたいのは、40歳以上の女性は、どんなに忙しくても2年に1度、乳がん検診に行っていただきたいということです。乳がんは、検診の効果（死亡率の減少）が確立されている数少ないがんの一つであるからです。

2020年度、いわき市の乳がん検診受診率は、残念ながら20.3%と極めて低い水準でした。その理由はきっと様々でしょう。それでも、もしご家族や友人に乳がん検診を受けるか悩んでいる方がいらっしゃいましたら、その想いを受け止めつつ、どうかそっと背中を押してあげてください。



## けんこうQ & A 放射線治療①

**Q 放射線治療と放射線診断の違いを教えてください。**

**A** 今年度の「市民の健康教室」では放射線治療についてQ&A方式で解説します。今回は放射線診断と放射線治療の違いについてのお話です。放射線診断は、放射線を用いて体内の病巣を画像化し、病気の診断を行います。放射線診断には、比較的低いエネルギーのエックス線（X線）やガンマ線が用いられます。X線写真やCT検査、PET検査などが放射線診断に含まれます。

一方、放射線治療は、放射線を用いて体内的がん細胞を死滅させることを目的としています。放射線治療でもX線が最も多く用いられていますが、高いエネルギーのX線が必要です。装置が大型で高額なため、放射線治療は限られた病院でしか受けられません。いわき市内では、いわき市医療センターと福島労災病院の2施設で放射線治療が受けられます。

（豆知識） X線写真とレントゲン写真は同じものです。レントゲンはX線を発見した人の名前で、最近ではX線写真と呼ぶのが一般的です。

かかりつけ医の紹介・相談は、医師会事務局へ（ホームページURL <https://www.iwaki.or.jp>）

### 休日納税相談 問い合わせ先 税務課 ☎22-7424

内容	日程	時間	場所
税の納付や納付方法の相談、納付書を紛失した際の再発行など	4/21(日)	9:00～16:00	税務課、各税務事務所

### いわきコンピュータ・カレッジ ☎56-0711 FAX 56-0751 [info@iwaki-cc.ac.jp](mailto:info@iwaki-cc.ac.jp) 申込方法 ☎FAX

内容	日程	時間	申込期限
聴講生（基本情報技術者試験向け）	4/22(月)～来年3/17(月)の月～金曜日	8:40～16:05	4/19(金)
前期科目履修生	4/22(月)～9/30(月)	※科目により異なります	4/19(金)
オープンキャンパス	5/11(土)	9:00～12:00	当日受付可
パソコンビギナー講座（電子メールの使い方など）※1	5/20(月)・22(水)・24(金)・27(月)・29(水)	18:00～20:30	5/8(水)

※1 定員20人（応募多数時は抽選）、教材費1,000円

### フラワーセンター ☎22-5667 申込方法 4/15(金)9:00から窓口で

教室名	日程	時間	定員（先着順）	料金
押し花でキーホルダー作り	5/5(日)	13:30～15:30	10人程度	1,500円
	5/6(月)	13:30～15:30	10人程度	1,500円
グリーンがメインのスクエアフレーム壁飾り	5/11(土)	10:00～12:00	10人程度	2,000円
フォトフレーム・フラワーアレンジメント	5/11(土)	10:00～12:00	10人程度	2,500円
クラフトパンチでネモフィラの鉢飾り	5/18(土)	10:00～11:00	6人程度	2,000円
親子で描写マグカップとガラスのストラップ作り	5/19(日)	10:00～12:00	6組程度（2人1組）	2,000円 ※1
生活インテリア雑貨作りVol.2 「ハーバリウムペン立てと押し花のスタンド置物」	5/19(日)	13:30～15:30	10人程度	2,500円 ※2
スプリングフェスティバル	4/20(土)・21(日)	9:00～16:00	-	-

※1 追加1人につき1,000円

※2 お子様の同伴について小学生以下は1人のみ無料、中学生以上は1人500円引き

### 市民スポーツ教室 問い合わせ先 スポーツ振興課 ☎22-7553 FAX 22-1285 [spo@city.iwaki.lg.jp](mailto:spo@city.iwaki.lg.jp)

申込方法 ハガキに教室名・住所・氏名・学年・保護者氏名・電話番号・メールアドレスを記入し、〒970-8686 スポーツ振興課へ（FAX可） 場所 総合体育館 対象 本市在住の方

教室名	日程	時間	申込期間	定員
ゴールデンウィーク・ニュースポーツ等体験フェスティバル	5/6(月)	10:00～12:00、13:00～15:00	申込不要	-
トランポリン教室 ※2	5/13・20の月曜日（全2回）	19:00～21:00	4/8(月)～22(月)必着	25人 ※3

※1 室内用運動靴を持参してください

※2 対象は小学生に限る

※3 応募多数時抽選

### クリンピーの家 ☎56-3651 FAX 56-3652 申込方法 5/10(金)までに同施設窓口で

教室名	日程	時間	料金
修理再生品を提供	5/11(土)	10:00抽選	自転車2,000円、家具3,000円

### 生涯学習プラザ ☎37-8888 FAX 22-5555 [info@isgp.jp](mailto:info@isgp.jp)

申込方法 ハガキに講座名・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、〒970-8026 平字一町目1 生涯学習プラザへ（窓口・FAX可） 申込期限 4/20(土)必着

内容	日程	時間	対象	定員
朗読教室1	5/15・29、6/12・26、7/10・24の水曜日（全6回）	18:30～20:00	18歳以上の方	10人
楽しい朗読1	5/17・31、6/14・28、7/12・19の金曜日（全6回）	13:30～15:00	18歳以上の方	10人
子育て講座	5/25(土)	10:30～12:00	幼児と保護者	10組
Outlook講座	5/26(日)	10:00～12:30	18歳以上の方	24人

※ 応募多数時は抽選



広報いわき／毎月1日発行  
◆広報いわきに関する皆さんからのご意見お待ちしています  
〒970-8686 いわき市平字梅本21 いわき市総合政策部広報広聴課

TEL 0246(22)7402 FAX 0246(22)7469  
市ホームページURL https://www.city.iwaki.lg.jp/

4月1日～5月15日

# 休日当番医など

お問い合わせ

医療対策課 ☎27-8572

月/日	診療科	医療機関（※診療協力医）	診療時間	月/日	診療科	医療機関（※診療協力医）	診療時間			
4/7 (日)	内科等	山口医院（平作町） ☎24-1811	9時～17時	5/3 (金)	内科等	かしま病院（鹿島町下藏持） ☎58-8010	9時～17時			
		佐々木内科胃腸科（小名浜南君ヶ塚町） ☎73-0345				緑川内科クリニック（錦町） ☎68-6415				
		櫛田病院（櫛田町） ☎63-3202				高坂脳外科クリニック（内郷宮町） ☎85-0333				
		そえだ医院（常磐湯本町） ☎68-6155				常磐病院（常磐上湯長谷町） ☎81-5522				
	泌尿器科	常磐病院※（常磐上湯長谷町） ☎81-5522	9時～15時	5/4 (土)	内科等	中村病院（小名浜大原） ☎53-3141	9時～17時			
	眼科	中央台たなか眼科※（中央台高久） ☎29-1722	9時～14時			松崎内科（櫛田町） ☎63-3358				
	小児科	やまぎわこどもクリニック（郷ヶ丘） ☎28-8686	9時～12時			常磐病院（常磐上湯長谷町） ☎81-5522				
4/14 (日)	内科等	矢吹病院（佐糠町） ☎63-1818	9時～17時			高坂脳外科クリニック（内郷宮町） ☎85-0333				
		いわき湯本病院（常磐湯本町） ☎42-3188	5/5 (日)	内科等	山口医院（平作町） ☎24-1811	9時～17時				
		かしむら婦人科クリニック（泉玉露） ☎56-2289			石井脳神経外科・眼科病院（小名浜林崎） ☎58-3121					
	泌尿器科	常磐病院※（常磐上湯長谷町） ☎81-5522			9時～15時		吳羽総合病院（錦町） ☎63-2181			
	眼科	中央台たなか眼科※（中央台高久） ☎29-1722			9時～14時		根本内科胃腸科医院（常磐湯本町） ☎43-4100			
	小児科	むらまつ小児科（常磐関船町） ☎72-0707			9時～12時	常磐病院※（常磐上湯長谷町） ☎81-5522	9時～15時			
	内科等	山口医院（平作町） ☎24-1811	9時～17時	5/6 (月)	内科等	磐城中央病院（小名浜南富岡） ☎53-3511	9時～17時			
4/21 (日)		すみのやリウマチ整形外科（小名浜佐吉） ☎58-1154				いわき草木台総合クリニック（草木台） ☎28-1145				
		吳羽総合病院（錦町） ☎63-2181				小松医院（遠野町） ☎89-2041				
婦人科等	かたよせウイメンズクリニック（常磐西郷町） ☎42-4135	泌尿器科				常磐病院※（常磐上湯長谷町） ☎81-5522				
泌尿器科	常磐病院※（常磐上湯長谷町） ☎81-5522	9時～15時				9時～15時				
眼科	中央台たなか眼科※（中央台高久） ☎29-1722	9時～14時	5/12 (日)	内科等	ふじい医院（泉町） ☎56-2288	9時～17時				
小児科	相原小児科医院（内郷御厨町） ☎26-5551	9時～12時			櫛田病院（櫛田町） ☎63-3202					
内科等	永井整形外科（小名浜西君ヶ塚町） ☎54-7722	9時～17時			いわき湯本病院（常磐湯本町） ☎42-3188					
	4/28 (日)				こうじま慈愛病院（錦町） ☎63-5141	泌尿器科	常磐病院※（常磐上湯長谷町） ☎81-5522			
					かもめクリニック（草木台） ☎28-1010	眼科	中央台たなか眼科※（中央台高久） ☎29-1722			
整形外科	高原整形外科※（内郷綾町） ☎45-0123	9時～12時			小児科	森のこどもクリニック（櫛田町） ☎38-7227				
泌尿器科	常磐病院※（常磐上湯長谷町） ☎81-5522	9時～15時				9時～12時				
眼科	中央台たなか眼科※（中央台高久） ☎29-1722	9時～14時								
内科等	小名浜生協病院（小名浜岡小名） ☎53-4374	9時～17時	5/12 (日)	内科等	ふじい医院（泉町） ☎56-2288	9時～17時				
	クリニック田畠（中岡町） ☎63-1476				櫛田病院（櫛田町） ☎63-3202					
	常磐病院※（常磐上湯長谷町） ☎81-5522				いわき湯本病院（常磐湯本町） ☎42-3188					
	須田医院（小島町） ☎27-6060				泌尿器科	常磐病院※（常磐上湯長谷町） ☎81-5522				
	ニュータウン腎・内科クリニック（中央高久） ☎46-0606	9時～12時			眼科	中央台たなか眼科※（中央台高久） ☎29-1722				

## 【休日夜間急病診療所（内科・小児科）】

総合保健福祉センター隣 ☎27-1208  
平日：20時～23時 土曜日：19時～23時  
日曜日：14時～18時、19時～23時  
祝日：9時～13時、14時～18時、19時～23時

※新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの検査については、市ホームページ、または電話で確認してください。

## 【休日救急歯科診療所】

総合保健福祉センター内 ☎27-8620  
日曜日、祝日：9時～12時、13時～16時（受付終了時間15時30分）



## 【県こども救急電話相談】

☎024-521-3790 または #8000（プッシュ回線・携帯電話）  
毎日 19時～翌朝8時

## 【県救急電話相談】

☎024-524-3020 または #7119（プッシュ回線・携帯電話）  
毎日 24時間対応

## ●かかりつけ医を持ちましょう

## ●コンビニ受診はやめましょう

## ●救急車は適正に利用しましょう

【今月号の表紙】 3月11日、薄磯海岸にて撮影。白いカーネーションの献花に込めた大切な思いが届きますように。

